

第 1-17 表 内外価格差及び購買力平価

Table 1-17: Comparative price levels and purchasing power parities (PPPs)

		2014年度	2016	2019	2020	2021	FY	
内外価格差 1)		Comparative price levels						
アメリカ	総合	1.62	1.62	1.41	1.47	1.23		USA
	工業製品等	1.51	1.52	1.39	1.50	1.19		a
	産業向けサービス	1.81	1.81	1.44	1.41	1.30		b
中国	総合	2.24	2.44	2.50	2.44	2.06		CHN
	工業製品等	1.67	1.82	1.91	1.93	1.65		a
	産業向けサービス	3.22	3.50	3.49	3.29	2.76		b
購買力平価 2)		PPPs						
円/各国通貨		JPY/national currency						
アメリカ	総合	168.69	166.30	151.27	155.98	135.07	JPY/USD	USA
	工業製品等	157.00	155.28	149.51	159.50	130.63		a
	産業向けサービス	188.56	185.05	154.25	150.00	142.61		b
中国	総合	37.85	37.47	38.29	37.37	35.09	JPY/Yuan	CHN
	工業製品等	28.18	27.92	29.32	29.64	28.07		a
	産業向けサービス	54.28	53.71	53.52	50.52	47.04		b

a) industrial products; b) services for industry

出典：経済産業省（2022.4）「2021年度産業向け財・サービスの内外価格調査」

注：2021年度の調査対象品目・スペックは、工業製品等185品目・スペック、産業向けサービス45品目・スペック（調査時点2021年度7～9月）。為替レートは、各年度7～9月における平均為替レート。

- 1) 内外価格差とは、同一製品、又は同等のスペックを持つ製品の日本での価格と海外での価格の差をいう（各国＝1としたときの日本の価格の倍率）。価格差の拡大は、国内価格の上昇、競争力の低下を示している。

$$\text{算出方法： 内外価格差} = \frac{\text{購買力平価（円/現地通貨）}}{\text{為替レート（円/現地通貨）}}$$

- 2) 購買力平価とは、同一製品、又は同等のスペックを持つ製品の日本での価格（円）と海外での価格（現地通貨）との比率をいう。

$$\text{算出方法： 購買力平価} = \frac{\text{日本での価格（円）}}{\text{海外での価格（現地通貨）}}$$